

認可保育所
本楯保育園

2023年度

職員自己評価・利用者【保護者】調査 集計結果

	ページ
I 職員自己評価【集計結果】共通評価基準【45項目】	1
職員自己評価【集計結果】内容評価基準【20項目】	26
II 職員自己評価【カテゴリー別】【総合】自由意見	39
III 利用者【保護者】調査 集計結果	63

I. 職員自己評価【集計結果】

事業所種別	事業所名
認可保育所	本楯保育園

対象職員数	18名
回答職員数	18名
回収率	100.0%

●共通評価基準

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

【1】I－1－(1)－① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		合議	職員			
判断基準	a)法人(保育所)の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、保護者等への周知が図られている。	b	6		33.3%	
	b)法人(保育所)の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。		12		66.7%	
	c)法人(保育所)の理念、基本方針の明文化や職員への周知がされていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○	18	100.0%	0	0.0%
	理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○	14	77.8%	4	22.2%
	基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○	8	44.4%	10	55.6%
	理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	×	12	66.7%	6	33.3%
	理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。	×	4	22.2%	14	77.8%

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

【2】I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		合議	職員			
判断基準	a) 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	8	44.4%		
	b) 事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されているが、分析が十分ではない。		8	44.4%		
	c) 事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されていない。		1	5.6%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	×	11	61.1%	7	38.9%
	地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○	6	33.3%	12	66.7%
	子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○	14	77.8%	4	22.2%
	定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	×	9	50.0%	9	50.0%

【3】I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		合議	職員			
判断基準	a) 経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	6	33.3%		
	b) 経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき、取組を進めているが十分でない。		9	50.0%		
	c) 経営環境と経営状況の把握・分析にもとづく取組が行われていない。		2	11.1%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題を明らかにしている。	○	7	38.9%	11	61.1%
	経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○	11	61.1%	7	38.9%
	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○	10	55.6%	8	44.4%

I－3 事業計画の策定

I－3－(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

【4】I－3－(1)－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		合議	職員			
判断基準	a)経営や保育に関する、中・長期の事業計画及び中・長期の収支計画を策定している。	C	7	38.9%		
	b)経営や保育に関する、中・長期の事業計画または中・長期の収支計画のどちらかを策定していなく、十分ではない。		5	27.8%		
	c)経営や保育に関する、中・長期の事業計画も中・長期の収支計画のどちらも策定していない。		6	33.3%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	×	4	22.2%	14	77.8%
	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	×	3	16.7%	15	83.3%
	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	×	6	33.3%	12	66.7%

【5】I－3－(1)－② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		合議	職員			
判断基準	a)単年度の計画は、中・長期計画を反映して具体的に策定されている。	b	6	33.3%		
	b)単年度の計画は、中・長期計画を反映しているが、内容が十分ではない。		7	38.9%		
	c)単年度の計画は、中・長期計画を反映しておらず、内容も十分ではない。		5	27.8%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○	8	44.4%	10	55.6%
	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	×	6	33.3%	12	66.7%
	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	×	4	22.2%	14	77.8%

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

【6】I－3－(2)－① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		合議	職員			
判断基準	a)事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	1		5.6%	
	b)事業計画が職員等の参画のもとで策定されているが、実施状況の把握や評価・見直し、または、職員の理解が十分ではない。		12		66.7%	
	c)事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。		5		27.8%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	×	4	22.2%	14	77.8%
	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等が)されており、理解を促すための取組を行っている。	×	3	16.7%	15	83.3%

【7】I－3－(2)－② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		合議	職員			
判断基準	a) 事業計画を保護者等に周知するとともに、内容の理解を促すための取組を行っている。	C	4		22.2%	
	b) 事業計画を保護者等に周知しているが、内容の理解を促すための取組が十分ではない。		11		61.1%	
	c) 事業計画を保護者等に周知していない。		3		16.7%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	×	8	44.4%	10	55.6%
	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	×	2	11.1%	16	88.9%

I－4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I－4－(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

【8】I－4－(1)－① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		合議	職員			
判断基準	a) 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	C	2		11.1%	
	b) 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われているが、十分に機能していない。		9		50.0%	
	c) 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われていない。		6		33.3%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。	×	6	33.3%	12	66.7%
	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	×	1	5.6%	17	94.4%
	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	×	0	0.0%	18	100.0%

【9】I－4－(1)－② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		合議	職員			
判断基準	a) 評価結果を分析し、明確になった保育所として取組むべき課題について、改善策や改善実施計画を立て実施している。	C	1		5.6%	
	b) 評価結果を分析し、保育所として取組むべき課題を明確にしているが、改善策や改善実施計画を立て実施するまでには至っていない。		7		38.9%	
	c) 評価結果を分析し、保育所として取組むべき課題を明確にしていない。		9		50.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	×	0	0.0%	18	100.0%
	職員間で課題の共有化が図られている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	×	2	11.1%	16	88.9%
	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	×	1	5.6%	17	94.4%

Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 管理者の責任とリーダーシップ

Ⅱ－１－（１） 管理者の責任が明確にされている。

【10】Ⅱ－１－（１）－① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		合 議	職 員			
判 断 基 準	a)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。	b	11		61.1%	
	b)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。		6		33.3%	
	c)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。		0		0.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チエック有		チエック無	
評 価 の 着 眼 点	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。	×	8	44.4%	10	55.6%
	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○	3	16.7%	15	83.3%
	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○	10	55.6%	8	44.4%

【11】Ⅱ－１－（１）－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		合 議	職 員			
判 断 基 準	a)施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。	b	12		66.7%	
	b)施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。		5		27.8%	
	c)施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。		1		5.6%	
	無回答		0		0.0%	
			チエック有		チエック無	
評 価 の 着 眼 点	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	×	13	72.2%	5	27.8%
	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○	10	55.6%	8	44.4%
	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	×	8	44.4%	10	55.6%

Ⅱ－１－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。

【12】Ⅱ－１－（２）－① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。		合議	職員			
判断基準	a) 施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	b	10		55.6%	
	b) 施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。		7		38.9%	
	c) 施設長は、保育の質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。		1		5.6%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	×	10	55.6%	8	44.4%
	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○	13	72.2%	5	27.8%

【13】Ⅱ－１－（２）－② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		合議	職員			
判断基準	a) 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に十分な指導力を発揮している。	b	9		50.0%	
	b) 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。		9		50.0%	
	c) 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組について指導力を発揮していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	×	9	50.0%	9	50.0%
	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○	12	66.7%	6	33.3%
	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	×	9	50.0%	9	50.0%

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

【14】Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		合議	職員			
判断基準	a) 保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しており、それにもとづいた取組が実施されている。	b	5	27.8%		
	b) 保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しているが、それにもとづいた取組が十分ではない。		9	50.0%		
	c) 保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立していない。		4	22.2%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	×	4	22.2%	14	77.8%
	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	×	5	27.8%	13	72.2%
	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○	9	50.0%	9	50.0%

【15】Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 総合的な人事管理を実施している。	b	1	5.6%		
	b) 総合的な人事管理に関する取組が十分ではない。		14	77.8%		
	c) 総合的な人事管理を実施していない。		3	16.7%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	×	3	16.7%	15	83.3%
	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○	3	16.7%	15	83.3%
	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	×	3	16.7%	15	83.3%
	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	×	6	33.3%	12	66.7%
	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。	×	0	0.0%	18	100.0%

Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。

【16】Ⅱ－2－(2)－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		合議	職員			
判断基準	a)職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築され、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。	a	4		22.2%	
	b)職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。		12		66.7%	
	c)職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。		2		11.1%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○	9	50.0%	9	50.0%
	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○	13	72.2%	5	27.8%
	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○	5	27.8%	13	72.2%

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。	b	1	5.6%		
	b) 職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われているが、十分ではない。		8	44.4%		
	c) 職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われていない。		9	50.0%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	×	1	5.6%	17	94.4%
	個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	×	1	5.6%	17	94.4%

【18】Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		合議	職員			
判断基準	a) 保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている	b	6	33.3%		
	b) 保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されているが、内容や教育・研修の実施が十分ではない。		8	44.4%		
	c) 保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。		3	16.7%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○	4	22.2%	14	77.8%
	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。	×	5	27.8%	13	72.2%
	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	×	9	50.0%	9	50.0%
	定期的に計画の評価と見直しを行っている。	×	3	16.7%	15	83.3%
	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%

【19】Ⅱ－2－(3)－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		合議	職員			
判断基準	a)職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保され、適切に教育・研修が実施されている。	a	10		55.6%	
	b)職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保されているが、参加等が十分でない。		7		38.9%	
	c)職員一人ひとりについて、研修機会が確保されていない。		0		0.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○	9	50.0%	9	50.0%
	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	×	6	33.3%	12	66.7%
	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○	8	44.4%	10	55.6%
	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○	14	77.8%	4	22.2%

Ⅱ－2－(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】Ⅱ－2－(4)－① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		合議	職員			
判断基準	a)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等、積極的な取組を実施している。	C	3		16.7%	
	b)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備してはいるが、効果的な育成プログラムが用意されていないなど、積極的な取組には至っていない。		11		61.1%	
	c)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備しておらず、教育・研修が行われていない。		2		11.1%	
	無回答		2		11.1%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	×	0	0.0%	18	100.0%
	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	×	1	5.6%	17	94.4%
	指導者に対する研修を実施している。	×	2	11.1%	16	88.9%
	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	×	9	50.0%	9	50.0%

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

【21】Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 保育所の事業や財務等に関する情報について、適切に公開している。	a	8	44.4%		
	b) 保育所の事業や財務等に関する情報を公表しているが、方法や内容が十分ではない。		7	38.9%		
	c) 保育所の事業や財務等に関する情報を公表していない。		1	5.6%		
	無回答		2	11.1%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	○	6	33.3%	12	66.7%
	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	○	4	22.2%	14	77.8%
	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○	13	72.2%	5	27.8%
【22】Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	9	50.0%		
	b) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。		9	50.0%		
	c) 公正かつ透明性の高い適正な運営・経営のための取組が行われていない。		0	0.0%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	×	5	27.8%	13	72.2%
	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○	11	61.1%	7	38.9%
	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○	10	55.6%	8	44.4%

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。

【23】Ⅱ－４－（１）－① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っている。	a	10		55.6%	
	b) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。		7		38.9%	
	c) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。		0		0.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	×	7	38.9%	11	61.1%
	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。	○	12	66.7%	6	33.3%
	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○	11	61.1%	7	38.9%

【24】Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		合議	職員			
判断基準	a) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されており、受入れについての体制が整備されている。	b	8		44.4%	
	b) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢は明示されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。		8		44.4%	
	c) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されていない。		2		11.1%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○	7	38.9%	11	61.1%
	学校教育への協力を行っている。	○	16	88.9%	2	11.1%

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。

【25】Ⅱ－４－（２）－① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。	b	8	44.4%		
	b) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握しているが、その関係機関等との連携が十分ではない。		8	44.4%		
	c) 子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。		1	5.6%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○	10	55.6%	8	44.4%
	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	×	5	27.8%	13	72.2%
	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。	○	14	77.8%	4	22.2%

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。

【26】Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を積極的に行っている。	C	5	27.8%		
	b) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っているが、十分ではない。		11	61.1%		
	c) 地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っていない。		1	5.6%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育所（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	×	3	16.7%	15	83.3%

【27】Ⅱ－4－(3)－② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を積極的に行っている。	C	7		38.9%	
	b) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が十分ではない。		9		50.0%	
	c) 把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を行っていない。		1		5.6%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。	×	6	33.3%	12	66.7%
	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	×	4	22.2%	14	77.8%
	多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	×	13	72.2%	5	27.8%
	保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	×	3	16.7%	15	83.3%

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

【28】Ⅲ－１－（１）－① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解をもつための取組が行われている。	a	8	44.4%		
	b) 子どもを尊重した保育についての基本姿勢は明示されているが、組織内で共通の理解をもつための取組は行っていない。		9	50.0%		
	c) 子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示されていない。		0	0.0%		
	無回答		1	5.6%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	×	11	61.1%	7	38.9%
	子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	×	6	33.3%	12	66.7%
	子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。	○	8	44.4%	10	55.6%
	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	×	12	66.7%	6	33.3%
	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。	○	10	55.6%	8	44.4%
	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。	○	11	61.1%	7	38.9%
	子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%

【29】Ⅲ－１－（１）－② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。		合議	職員			
判断基準	a) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、子どものプライバシーに配慮した保育が行われている。	a	9		50.0%	
	b) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、子どものプライバシーに配慮した保育が十分ではない。		8		44.4%	
	c) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。		1		5.6%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	×	9	50.0%	9	50.0%
	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○	13	72.2%	5	27.8%

Ⅲ－１－（２）福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

【30】Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。		合議	職員			
判断基準	a) 利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供している。	a	14		77.8%	
	b) 利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供しているが、十分ではない。		4		22.2%	
	c) 利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	見学等の希望に対応している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	×	9	50.0%	9	50.0%

【31】Ⅲ－１－（２）－② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		合議	職員	
判断基準	a) 保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等にわかりやすく説明を行っている。	b	10	55.6%
	b) 保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っているが、十分ではない。		7	38.9%
	c) 保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っていない。		0	0.0%
	無回答		1	5.6%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。	○	14	77.8%	4	22.2%
	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	×	13	72.2%	5	27.8%
	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	×	6	33.3%	12	66.7%

【32】Ⅲ－１－（２）－③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		合議	職員	
判断基準	a) 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮している。	b	4	22.2%
	b) 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮しているが、十分ではない。		9	50.0%
	c) 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮していない。		5	27.8%
	無回答		0	0.0%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	×	4	22.2%	14	77.8%
	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	×	3	16.7%	15	83.3%

Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。

【33】Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を踏まえて、その向上に向けた取組を行っている。	b	8		44.4%	
	b) 利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を把握しているが、その向上に向けた取組が十分ではない。		6		33.3%	
	c) 利用者満足を把握するための仕組みが整備されていない。		4		22.2%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。	×	1	5.6%	17	94.4%
	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。	×	11	61.1%	7	38.9%
	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。	○	11	61.1%	7	38.9%
	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	×	2	11.1%	16	88.9%
	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%

Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		合議	職員			
判断基準	a) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。	a	5	27.8%		
	b) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。		12	66.7%		
	c) 苦情解決の仕組みが確立していない。		1	5.6%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	×	10	55.6%	8	44.4%
	苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	×	4	22.2%	14	77.8%
	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○	5	27.8%	13	72.2%
	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	○	7	38.9%	11	61.1%
	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	○	4	22.2%	14	77.8%
	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	○	3	16.7%	15	83.3%
【35】Ⅲ－１－（４）－② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		合議	職員			
判断基準	a) 保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備され、そのことを保護者に伝えるための取組が行われている。	a	8	44.4%		
	b) 保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを保護者に伝えるための取組が十分ではない。		10	55.6%		
	c) 保護者が相談したり意見を述べたい時に、方法や相手を選択できない。		0	0.0%		
	無回答		0	0.0%		
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	×	8	44.4%	10	55.6%
	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	×	6	33.3%	12	66.7%
	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	×	12	66.7%	6	33.3%

【36】Ⅲ－１－（４）－③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		合議	職員			
判断基準	a) 保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。	a	9		50.0%	
	b) 保護者からの相談や意見を把握しているが、対応が十分ではない。		9		50.0%	
	c) 保護者からの相談や意見の把握をしていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○	8	44.4%	10	55.6%
	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○	1	5.6%	17	94.4%
	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	×	11	61.1%	7	38.9%
	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	×	1	5.6%	17	94.4%

Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】Ⅲ－１－(5)－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		合議	職員			
判断基準	a)リスクマネジメント体制を構築し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。	b	7		38.9%	
	b)リスクマネジメント体制を構築しているが、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集や要因分析と対応策の検討・実施が十分ではない。		8		44.4%	
	c)リスクマネジメント体制が構築されておらず、子どもの安心と安全を脅かす事例を組織として収集していない。		1		5.6%	
	無回答		2		11.1%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	×	4	22.2%	14	77.8%
	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	×	11	61.1%	7	38.9%
	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	×	12	66.7%	6	33.3%
	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	×	5	27.8%	13	72.2%

【38】Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。	b	10		55.6%	
	b) 感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備しているが、取組が十分ではない。		7		38.9%	
	c) 感染症の予防策が講じられていない。		1		5.6%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○	13	72.2%	5	27.8%
	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○	7	38.9%	11	61.1%
	感染症の予防策が適切に講じられている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	×	5	27.8%	13	72.2%
	保護者への情報提供が適切になされている。	×	14	77.8%	4	22.2%
【39】Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	11		61.1%	
	b) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っているが、十分ではない。		7		38.9%	
	c) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	災害時の対応体制が決められている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○	11	61.1%	7	38.9%
	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○	9	50.0%	9	50.0%
	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	○	15	83.3%	3	16.7%

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

【40】Ⅲ－２－（１）－① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。		合議	職員			
判断基準	a) 保育について、標準的な実施方法が文書化され、それにもとづいた保育が実施されている。	b	6		33.3%	
	b) 保育について、標準的な実施方法が文書化されているが、それにもとづいた保育の実施が十分ではない。		7		38.9%	
	c) 保育について、標準的な実施方法が文書化されていない。		4		22.2%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	標準的な実施方法が適切に文書化されている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○	5	27.8%	13	72.2%
	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	×	2	11.1%	16	88.9%
	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	×	5	27.8%	13	72.2%

【41】Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		合議	職員			
判断基準	a) 標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、仕組みのもとに検証・見直しを行っている。	b	4		22.2%	
	b) 標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定めているが、検証・見直しが十分ではない。		6		33.3%	
	c) 標準的な実施方法について、組織的な検証・見直しの仕組みを定めず、定期的な検証をしていない。		5		27.8%	
	無回答		3		16.7%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	×	3	16.7%	15	83.3%
	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	×	5	27.8%	13	72.2%
	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	×	6	33.3%	12	66.7%
	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○	6	33.3%	12	66.7%

Ⅲ－２－（２）適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。		合議	職員			
判断基準	a)アセスメントにもとづく指導計画を作成するための体制が確立しており、取組を行っている。	C	9		50.0%	
	b)アセスメントにもとづく指導計画を作成するための体制が確立しているが、取組が十分ではない。		8		44.4%	
	c)アセスメントにもとづく指導計画を作成するための体制が確立していない。		0		0.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	指導計画作成の責任者を設置している。	○	10	55.6%	8	44.4%
	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	×	13	72.2%	5	27.8%
	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	×	12	66.7%	6	33.3%
	全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	×	5	27.8%	13	72.2%
	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。	○	10	55.6%	8	44.4%
	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。	×	12	66.7%	6	33.3%

【43】Ⅲ－２－（２）－② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施している。	a	4		22.2%	
	b) 指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施しているが、十分ではない。		11		61.1%	
	c) 指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施していない。		3		16.7%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○	4	22.2%	14	77.8%
	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○	5	27.8%	13	72.2%
	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	×	2	11.1%	16	88.9%
	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	×	8	44.4%	10	55.6%
	評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。	○	13	72.2%	5	27.8%

Ⅲ－２－（３）福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】Ⅲ－２－（３）－① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		合議	職員	
判断基準	a) 子ども一人ひとりの保育の実施状況が適切に記録され、職員間で共有化されている。	a	10	55.6%
	b) 子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されているが、職員間での共有化が十分ではない。		8	44.4%
	c) 子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されていない。		0	0.0%
	無回答		0	0.0%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。	○	17	94.4%	1	5.6%
	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○	7	38.9%	11	61.1%
	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○	6	33.3%	12	66.7%
	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。	○	10	55.6%	8	44.4%
	コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている	○	14	77.8%	4	22.2%

【45】Ⅲ－２－（３）－② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。		合議	職員	
判断基準	a) 子どもに関する記録の管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。	a	11	61.1%
	b) 子どもに関する記録の管理について規程が定められ管理が行われているが、十分ではない。		7	38.9%
	c) 子どもに関する記録の管理について規程が定められていない。		0	0.0%
	無回答		0	0.0%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○	10	55.6%	8	44.4%
	記録管理の責任者が設置されている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	×	7	38.9%	11	61.1%
	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○	12	66.7%	6	33.3%

●内容評価基準

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成

【A1】A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。		合議	職員			
判断基準	a)全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成している。	b	12		66.7%	
	b)全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成しているが、十分ではない。		6		33.3%	
	c)全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。	○	12	66.7%	6	33.3%
	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。	○	13	72.2%	5	27.8%
	全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。	×	11	61.1%	7	38.9%
	全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	×	11	61.1%	7	38.9%

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

【A2】A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		合議	職員			
判断基準	a)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	11		61.1%	
	b)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、十分ではない。		7		38.9%	
	c)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。	×	14	77.8%	4	22.2%
	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。	○	13	72.2%	5	27.8%
	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	○	14	77.8%	4	22.2%

【A3】A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		合議	職員			
判断基準	a)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	17		94.4%	
	b)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているが、十分ではない。		1		5.6%	
	c)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	×	16	88.9%	2	11.1%
	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。	×	16	88.9%	2	11.1%
	せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	○	12	66.7%	6	33.3%

【A4】A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。		合議	職員			
判断基準	a) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	17		94.4%	
	b) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っているが、十分ではない。		1		5.6%	
	c) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	○	17	94.4%	1	5.6%

【A5】A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		合議	職員			
判断基準	a) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	13		72.2%	
	b) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているが、十分ではない。		5		27.8%	
	c) 子どもが主体的に活動できる環境の整備や、子どもの生活と遊びを豊かにする保育が展開されていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。	×	14	77.8%	4	22.2%
	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	○	15	83.3%	3	16.7%

【A6】A－１－（２）－⑤ 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		合 議	職 員			
判 断 基 準	a)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	10		55.6%	
	b)適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。		6		33.3%	
	c)適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。		0		0.0%	
	無回答		2		11.1%	
			チエック有		チエック無	
評 価 の 着 眼 点	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。	×	11	61.1%	7	38.9%
	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。	×	11	61.1%	7	38.9%
	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。	×	11	61.1%	7	38.9%
	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。	×	14	77.8%	4	22.2%
	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	×	15	83.3%	3	16.7%

【A7】A－１－（２）－⑥ 3歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		合 議	職 員			
判 断 基 準	a)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	16		88.9%	
	b)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。		2		11.1%	
	c)適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チエック有		チエック無	
評 価 の 着 眼 点	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	○	17	94.4%	1	5.6%

【A8】A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		合議	職員			
判断基準	a)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	15		83.3%	
	b)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。		1		5.6%	
	c)適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。		0		0.0%	
	無回答		2		11.1%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	○	16	88.9%	2	11.1%
【A9】A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		合議	職員			
判断基準	a)障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	11		61.1%	
	b)障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。		7		38.9%	
	c)障害のある子どもが安心して生活できる環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。	×	12	66.7%	6	33.3%
	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	×	12	66.7%	6	33.3%

【A10】A－1－(2)－⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		合議	職員			
判断基準	a)それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	12		66.7%	
	b)それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。		6		33.3%	
	c)それぞれの子どもの在園時間を考慮した保育環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。	×	13	72.2%	5	27.8%
	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。	×	14	77.8%	4	22.2%
	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	○	16	88.9%	2	11.1%

【A11】A－1－(2)－⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		合議	職員			
判断基準	a)小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	15		83.3%	
	b)小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているが、十分ではない。		2		11.1%	
	c)小学校との連携や就学を見通した計画、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮をしていない。		0		0.0%	
	無回答		1		5.6%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。	×	12	66.7%	6	33.3%
	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	○	14	77.8%	4	22.2%

A-1-(3) 健康管理

【A12】A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。		合議	職員	
判断基準	a) 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	13	72.2%
	b) 子どもの健康管理を適切に行っているが、十分ではない。		5	27.8%
	c) 子どもの健康管理を適切に行っていない。		0	0.0%
	無回答		0	0.0%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えとともに、事後の確認をしている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	子どもの保健に関する計画を作成している。	○	8	44.4%	10	55.6%
	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。	○	10	55.6%	8	44.4%
	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。	×	15	83.3%	3	16.7%
	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	×	7	38.9%	11	61.1%

【A13】A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		合議	職員	
判断基準	a) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	14	77.8%
	b) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映しているが、十分ではない。		4	22.2%
	c) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映していない。		0	0.0%
	無回答		0	0.0%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。	×	9	50.0%	9	50.0%
	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	○	16	88.9%	2	11.1%

【A14】A－1－(3)－③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		合議	職員			
判断基準	a)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a	14		77.8%	
	b)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っているが、十分ではない。		4		22.2%	
	c)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、適切な対応を行っていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	○	14	77.8%	4	22.2%
	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	○	10	55.6%	8	44.4%

A-1-(4) 食事

【A15】A－1－(4)－① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		合議	職員			
判断基準	a) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	17		94.4%	
	b) 食事を楽しむことができるよう工夫をしているが、十分ではない。		1		5.6%	
	c) 食事を楽しむことができる工夫をしていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	食器の材質や形などに配慮している。	○	16	88.9%	2	11.1%
	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	○	16	88.9%	2	11.1%

【A16】A－1－(4)－② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		合議	職員			
判断基準	a)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	16		88.9%	
	b)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているが、十分ではない。		2		11.1%	
	c)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供していない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。	○	15	83.3%	3	16.7%
	季節感のある献立となるよう配慮している。	○	17	94.4%	1	5.6%
	地域の食文化や行事食などを取り入れている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	○	16	88.9%	2	11.1%
	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	○	14	77.8%	4	22.2%

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

【A17】A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		合議	職員			
判断基準	a)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	15		83.3%	
	b)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っているが、十分ではない。		3		16.7%	
	c)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っていない。		0		0.0%	
	無回答		0		0.0%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。	○	9	50.0%	9	50.0%
	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	○	16	88.9%	2	11.1%

A-2-(2) 保護者等の支援

【A18】A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		合議	職員	
判断基準	a) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	14	77.8%
	b) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っているが、十分ではない。		2	11.1%
	c) 保護者が安心して子育てができるようにするための支援を行っていない。		0	0.0%
	無回答		2	11.1%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保護者等からの相談に応じる体制がある。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。	○	13	72.2%	5	27.8%
	相談内容を適切に記録している。	○	14	77.8%	4	22.2%
	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	○	13	72.2%	5	27.8%

【A19】A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		合議	職員	
判断基準	a) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	10	55.6%
	b) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めているが、十分ではない。		7	38.9%
	c) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めていない。		0	0.0%
	無回答		1	5.6%

			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。	○	17	94.4%	1	5.6%
	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。	○	15	83.3%	3	16.7%
	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。	○	12	66.7%	6	33.3%
	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。	○	12	66.7%	6	33.3%
	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。	○	15	83.3%	3	16.7%
	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。	×	3	16.7%	15	83.3%
	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	×	3	16.7%	15	83.3%

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

【A20】A－2－(1)－① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		合議	職員			
判断基準	a) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	C	2		11.1%	
	b) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めているが、十分ではない。		9		50.0%	
	c) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)に取り組んでいない。		5		27.8%	
	無回答		2		11.1%	
			チェック有		チェック無	
評価の着眼点	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。	×	10	55.6%	8	44.4%
	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。	×	9	50.0%	9	50.0%
	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。	×	4	22.2%	14	77.8%
	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。	×	4	22.2%	14	77.8%
	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。	×	4	22.2%	14	77.8%
	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	×	3	16.7%	15	83.3%

Ⅱ-1. 職員自己評価【カテゴリー別】 自由意見

※記入者の特定を避けるため、本題を曲げない範囲で文章を加工しています。内容により特定される場合もあると思われますが、本人の不利益にならないよう取り扱いにご配慮をお願い致します

判断した理由・特記事項等

●共通評価基準

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

【1】I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。

1	理念や基本方針はホームページに記載されている(複数回答:他に1件)
2	・本楯保育園の保育理念としてホームページに提示し、保護者はもちろんのこと、広く園に興味を持ってくれることなどを期待し、誰でも見るようにしている。ホームページを見た見学希望者も増えてきている ・保育士も、保育理念を意識して子どもと向き合い、保護者とコミュニケーションを図ることができていると感じる
3	・ホームページに記載されている ・子どもたちの写真が載っていることで、保護者が目にしやすいものになっていると思う
4	会議等による話し合いは行われなかったため、内容についてはすべて理解できているわけではない。わからないものもある。身近なものではない
5	・理念や基本方針は、ホームページに記載されているが、検索して少し探さないと出てこないで、すぐには見られない ・理念は「目指す子ども像」として記載されているが、自分たちはわかっていても、保護者が「理念は目指す子ども像である」ということがすぐ受け取れるのかどうか、わからない
6	基本方針は、ホームページや「入園のしおり」などに記載されているが、継続的に確認する機会は少ないと感じる
7	ホームページ等には記載されているが、周知というほどの取り組みではない
8	ホームページで見ることができる
9	毎年、掲載する写真等を入れ替えて、新しいパンフレットを作成している

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

【2】I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。

1	よくわからない
2	事業経営についてはあまり話を聞いたことがない。予算等が出ているので、おそらく把握はされていると思うが、分析まで行われているかどうかはわからない
3	数値化して出されているので、分析されていると思う
4	これからの少子化に対応するために、さまざまな対策を実施している
5	現在や将来の状況を考えながら運営している
6	4月に「今年度に入園予定の子どもの人数」を出し、全員に配布している

【3】I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。

1	改善すべき課題に関して、運営会議で出た内容を職員会議を通して職員全体に周知し、解決・改善に向けて話し合うことができている
2	子どもが少なくなっているなかで「選ばれる保育園であるために、どのようにしていくか」について検討し、取り組みを進めているところである
3	昨年度の途中から「バスの無料化」を実践したことで、市内の子どもの数が増えて、在園児の確保につながっている
4	辞令交付などの全体で集まる機会があるときに運営状況等について話を聞いている
5	職員の人数的な問題など、問題点が明らかであっても改善には至っていない

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

【4】I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。

1	年度末に事業計画を見直している
---	-----------------

【5】I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。

1	事業計画はあるが、具体的な内容かどうかはわからない
---	---------------------------

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

【6】I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。

1	事業計画等を周知する会議はないため、上層部はわかっているが下には伝わらない
2	行事計画は、職員の意見を集約して決めている
3	計画はあるが、見直し等がいつ行われているのかわからない

【7】Ⅰ－3－(2)－② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。

1	事業計画については、保護者会で園長が丁寧に説明している
2	「お便り」「SNS」等に細かく載せて、知らせている。次月の予定等も事前に記載している
3	ホームページに記載されている。取り組みについては、もう少しできることがあるのではと思う
4	ホームページには事業計画が掲示されている
5	玄関に置いてある
6	行事等は連絡されているが、他のことは伝わっていないと思う

Ⅰ－4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

Ⅰ－4－(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

【8】Ⅰ－4－(1)－① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。

1	月案の反省を通して保育についての振り返りは行っているが、第三者評価受審の取り組みは、これまで行っていない
2	・自己評価は実施しているが、第三者評価は受審していない ・月案や日々の保育のなかでPDCAサイクルを行っていると思っていた

【9】Ⅰ－4－(1)－② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。

1	・保育に関しては、日案、週案、月案などで結果や課題が文書化され、さらにICTの導入により、職員間の共有が図られている ・そのため、組織としては文書等による明確化がされていないと感じる
2	職員会議などで話し合っている(複数回答:他に1件)

Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－1 管理者の責任とリーダーシップ

Ⅱ－1－(1) 管理者の責任が明確にされている。

【10】Ⅱ－1－(1)－① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。

1	災害時の役割分担表ですべて明確化され、職員全体に周知もされている
2	・園長の不在時は、総括主任と主任が代理を務めている ・「災害時の役割分担表」を職員に配布し、全員がどのポジションか把握している
3	職員に「よい」「悪い」を伝えないため、いい加減になっている部分が多くある。例えば、書類の不備、業務中に寝ている職員などについて、まったく注意しない

【11】Ⅱ－1－(1)－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

1	コメントなし
---	--------

Ⅱ－１－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。

【12】Ⅱ－１－（２）－① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。

1	・毎年、キャリアアップ研修に多くの職員が参加している ・各分野の法人研修にも参加し、保育の質の向上に向けて取り組んでいる
2	毎年、職員がキャリアアップ研修等を受講し、質の向上を図っている
3	現場（各クラス）の現状を伝えても、話が進まないことが多い

【13】Ⅱ－１－（２）－② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。

1	・女性職員が多い職場であるため「子育て真っ最中」の職員も多いが、家庭と仕事の両立ができるように、働きやすい環境を整えている ・事務の時間を短くすることや人員配置の適正化に向けて事業所は職員と常に話し合いを行い、改善に向けて取り組んでいる
2	保育士が一時的に忙しいときには、園長も保育側の仕事を担ってくれている
3	・今年度から「休日保育」が始まったが、それについて一般職員に対する説明はなく、保護者総会で保護者への通知と同時に伝えられる状況であった ・事前に、導入について職員にも相談するべきであると思う

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

【14】Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

1	酒田市が開催している『保育の仕事まるわかりフェア』には積極的に参加し、人材確保に向けて取り組んでいる
2	『保育の仕事まるわかりフェア』に参加し、人材確保に向けて活動している
3	人材が足りていなくとも、法人内の人事異動など、内部での人材の行き来は多くある。ただし「規定数でよい」という判断のため、クラス内が逼迫することもある
4	0歳児が増えるため、看護師を1名増やす予定がある
5	保育目標に基づいて計画を立て、実施している
6	現場の状況と配置基準で必要な人数が違ってくるが、そのことをわかってもらえない場合も多い。人員不足を感じる

【15】Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。

1	職員処遇の水準が低い
2	・リーダー手当やサブリーダー手当があるのに、リーダーやサブリーダーに適していない人材がその役職に任命されることが多く、理不尽さを感じる ・たとえ年齢が上でも、仕事ができなければ、役職にしないほしい
3	職員への説明はあいまいである。「処遇は改善されている」と言われても実感がない
4	クラスの体制や雰囲気を見て人員の配置を考えたり、調整を加えている
5	・処遇改善の取り組みについては、4件の研修に参加しても、年によって処遇改善手当がもらえないことがあることはよくないと思う。研修を受ける意味がない ・主任だけ、毎年変更なく処遇改善手当がもらえることも、どうなのかと思う

Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。

【16】Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

1	職員の有給休暇の使用日数は、誰でも見ることができる
2	・面談が行われることがないので、希望を言うこともなかなか難しい環境である ・有給休暇は取りやすいので、感謝している
3	有給休暇がどのくらいあるのかについては、園長に聞けばわかるが、すぐ簡単に確認できるような環境を整えるべきであると思う
4	皆で協力し合いながら、勤務体制について決めている
5	・毎月の半ばまでに、休暇の希望を出してもらうようにしている ・遅番で延長保育の子どもがいるなどで定められた就業時間を超過した場合は、個人で把握し、調整するようにしている
6	働きやすい職場であると思う
7	・前年度に未消化であった有給休暇を使っているのか、今年度の有給休暇を使っているのか、いつもわからない。現時点で自分に何日間の有給休暇あるのか、わからない ・産休や育休を取得したらリフレッシュ休暇がなくなるというのは、どういうことなのか ・福利厚生のおくみが何もなく、不満である

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

1	・個別の面接の実施はないが、日々の仕事のなかで、子どもたちの成長や保育に関して上司と話す機会が多くある ・職員の育成計画等の取り組みはない
2	担任を持つにあたり、安全・安心のほか、それぞれの目標が明確にされている
3	個別面談を実施したことがある

【18】Ⅱ－2－(3)－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

1	キャリアアップ研修を通じて、職員が当該年度のうちに必要な研修を受講することができるよう研修計画を作成している
2	・処遇改善の研修は、職員の皆が受けられるようにしている ・4月に「誰が何を受けるのか」を決めているのはよいと思う

【19】Ⅱ－2－(3)－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

1	概ね機会が確保されているが、欲を言えば、毎年取り組んでいる研修以外の研修にも参加できるようになればよいと思う
2	いつ、誰が、何の研修を受けるのかなdについて、全員が見られるところに掲載している
3	研修には参加したいが、自分が受けたい研修を選択し、自由に参加できる環境ではない
4	キャリアアップ研修に参加している
5	処遇改善の研修への参加については確実に把握されているので、よいと思う

Ⅱ－2－(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】Ⅱ－2－(4)－① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

1	実習生が考えた計画案に基づいて行っているので、保育園としての基本姿勢を明文化することや、特別なプログラムなどは用意していない
2	実習生が考えてくるプログラムに合わせて実施しているため、保育園としてのプログラムの作成は行っていない
3	マニュアル等はないが、積極的に受け入れているので、よいと思う

Ⅱ－3 運営の透明性の確保

Ⅱ－3－(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

【21】Ⅱ－3－(1)－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。

1	・苦情等に関しても、玄関に掲示している ・今年度からの取り組みとして、回覧板を活用し、地域に向けて月1回、どのような保育を行っているかについて紹介している
2	・誰の目にも止まりやすい玄関に、苦情対応や相談対応に関する掲示をしている ・今年度から、保育園が取り組んでいる内容を地域の人たちにも周知できるように、月1回の広報を行うようにしている
3	地域に向けた情報公開として広報を行っている
4	地域に配布しているチラシがある

【22】Ⅱ－3－(1)－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

1	毎年、監査が行われている
---	--------------

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。

【23】Ⅱ－４－（１）－① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

1	・保護者のニーズに応じて民間業者と提携し、紙おむつの無償化を行っている ・クルーズ船の来航時には子どもたちが「歓迎セレモニー」に参加したり、運動会や農民センターで行われる敬老会にも子どもたちが参加し、地域の人たちとの交流を深めている ・地域の人たちが子どもの「田んぼの先生」「畑の先生」となり、子どもたちがさまざまな体験をできるようにしている
2	・中学生や高校生がボランティアに来ている ・地域と連携し、花火を打ち上げたりしている
3	文書化まではしていないと思う
4	福祉施設の利用者と交流したり、敬老会などに参加している
5	・子どもたちの「畑の先生」「田んぼの先生」がいる ・法人のふるさととの交流活動を通じて、地域とのかかわりを大切にしている
6	保育園の取り組みに関する資料を作成して回覧板で地域に知らせ、保育園や子どもの活動を理解してもらえるようにしている
7	・地域とのかかわりは多い ・地域の人が子どもたちの「先生」になって実施している活動もある
8	地域に対して回覧板で情報提供している

【24】Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

1	学校からの職場体験や高校生のボランティアを受け入れ、子どもたちが社会について学ぶ機会をつくっている
2	基本的にボランティアを受け入れている
3	中学生や高校生のボランティアを受け入れている
4	社会体験の場としてボランティアを受け入れている
5	ボランティアは、よく受け入れている

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。

【25】Ⅱ－４－（２）－① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。

1	・アセスメントでは「何か気になること」などの保育士の些細な気づきから記載している。それらは、ICT化により、職員間で共有することができている ・保護者に対しても、これまでの気づきから分析し、問題が根深くなる前に早めの声かけを行い、また関係機関に報告するなど専門機関と協力しながら早期支援につなげている
2	虐待予防の対応では、さまざまな共有化が図られていると思う
3	情報提供していても、関係機関からは情報が伝わらないこともあり、連携は十分ではない
4	保健師と連携を図り、乳児検診の結果に基づいて、園や家庭での様子を踏まえた子どもや家族の支援について考えるようにしている
5	行政との連携はあまりないが、連絡は保育園側から行うようにしている
6	・市や行政に連絡しても、あまり受け入れてもらえない ・「保育園から伝えておいて」とか「家庭に確認して」などと言われる

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。

【26】Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。

1	コメントなし
---	--------

【27】Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。

1	地域の文化祭に作品を展示したり、出店したときもある
2	・「花いっぱい運動」を実施している ・地域の人たちとの交流を通して、街づくりにも協力している
3	おむつ、バスなどの無償化を図っている

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

【28】Ⅲ－１－（１）－① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。

1	日々職員同士で話し合い、取り組みを行ってきている
2	人権擁護の取り組みに参加している
3	人権擁護委員との交流がある

【29】Ⅲ－１－（１）－② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。

1	SNSの利用が増えているため、情報の流出が起こらないように留意している
2	・入園時に「SNSに載せてよいかどうか」を聞くことはある ・プライバシーに関する研修の実施はない
3	マニュアル等を整備しているか、わからないが、環境の工夫は行っていると思う
4	文書化して保護者に渡し、承諾を得ている
5	研修等は実施していない

Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

【30】Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。

1	ホームページで興味・関心を持った人が、誰でも情報を閲覧できるようにしている
2	園のパンフレットは、毎年リニューアルしている
3	ホームページから見るできるようになっている
4	インターネットによる紹介も含めて、わかりやすく、見やすいものが多い
5	・見学を実施している ・ホームページには、さまざまな写真や情報を載せていると思う
6	・入園前の見学を受け入れている ・ホームページ等によって情報を開示している
7	保育園の見学は随時受け入れている
8	・写真がたくさんパンフレットに掲載されている ・入所の際など、事前に説明している

【31】Ⅲ－１－（２）－② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。

1	・保護者への説明時は写真付きで行っている ・個別に「れんらくノート」でも対応している
2	親と保育者（担任あるいは園長）が一對一で説明する場を設けている
3	説明はしているが、ルール化しているかどうかはわからない

【32】Ⅲ－１－（２）－③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。

1	園としても、市としても対応していない
2	利用終了後については、あまり話していないように思う

Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。

【33】Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

1	面談希望のある保護者には、いつでも対応できるようにしている
2	保護者から個別面談で相談したい旨の希望があれば担任や園長が出席し、不安なく保育園で過ごすことができるようにかかわっている
3	総会で、意見交換を行っている
4	SNS（インスタグラム）で日々の保育の様子を配信している。それによって、家族も園での子どもの様子を知ることができる

Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

1	・受け付けた苦情の内容は保護者に配布し、玄関にも掲示している ・苦情受付のポストも設置しているが、苦情・相談などの投函はない
2	苦情への対応については入口に掲示されている
3	苦情対応の方法を玄関に掲示している
4	受付担当者等は設置されているが、わかりやすく説明した掲示物等はない

【35】Ⅲ－１－（４）－② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

1	相談ごとや意見があるときには、直接話したり、連絡ノートに書いて伝えてくる
2	相談しやすい雰囲気や環境を整えている
3	保育士1名が玄関にいて、対応している

【36】Ⅲ－１－（４）－③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

1	対応マニュアル等はない
2	マニュアルがあるかどうかわからない
3	玄関で子どもの様子を聞かれてもすぐには答えず、クラスに持ち帰り、担任が話し合ってから保護者に伝えている

Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

1	子どもの安全・安心を第一に考え、ニュースの事例などを職員間で話し合うようにしている
2	ヒヤリハット等は随時記入し、報告している
3	研修会に参加している

【38】Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

1	市のマニュアルに沿って行っている
2	感染症が発生した場合の園児の受け入れ体制の基準が明確になっていないため、対応について不安を感じることもある
3	感染症の発生時には保護者にメール送信することによって伝達し、感染拡大しないように、早めの対応を促すようにしている
4	保護者に対しては配信メールで感染症等の人数を伝えている
5	・感染症が流行したら、保護者にメールが届くようになっている ・保健だよりも発行している

【39】Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

1	子どもの引き渡し訓練を行っている
2	毎月の避難訓練のほか、年1回、子どもの引き渡し訓練を行い、災害に備えている
3	取り組みは行っているが、備蓄リストを作成しているかどうかはわからない
4	備蓄リストは作成していない
5	毎年、引き渡し訓練を実施している

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

【40】Ⅲ－２－（１）－① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。

1	コメントなし
---	--------

【41】Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

1	見直しの時期は、特別には決まっていない
2	検証や見直しを行っている

Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

1	園ではできているが、行政との連携はいま一つである
---	--------------------------

【43】Ⅲ－２－（２）－② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

1	コメントなし
---	--------

Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】Ⅲ－２－（３）－① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

1	・指導計画等については、子どもごとの進み具合が揃っていない ・指導等もされていないため、緩い
2	書類業務についての指導がないため、一貫性がないと思う場合がある

【45】Ⅲ－２－（３）－② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

1	規定を定めているかどうかはわからない
2	SNS等では、個人が特定されるような情報は載せていない
3	・ブログがある ・Instagramには、子どもの名前と顔が一致する情報は載せていない

●内容評価基準

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成

【A1】A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。

1	参画はしていないと思う
---	-------------

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

【A2】A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。

1	・毎月、クラスごとに安全点検を行いながら管理している ・未満児クラスでは、サークルを利用しながら、子どもたちが落ち着いて遊ぶことができるように環境を整えている
2	食事や睡眠のための生活空間は一応確保されているが、子ども一人ひとりがゆっくり睡眠をとることのできる環境が整えられているとは思えない
3	環境については、保育園の建物・設備等の構造面から難しい場合もある

【A3】A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。

1	作業療法士が加わり、子ども一人ひとりとのかかわりを大切にしている
---	----------------------------------

【A4】A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。

1	一人ひとりのスピードに合わせて、身につけられるように配慮している
2	日常生活のなかで基本動作を身につけられるように、着脱や布団たたみなどの毎日行うことを見守りながら、子どもが自立できるようにかかわっている

【A5】A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

1	子どもが自発的・自主的に生活できるように配慮したり、部会へ参加して、他の保育園の様子なども参考にしてお応じている
2	・天気のよい日は園庭に出て遊んだり、散歩をしながら、子どもが戸外でたくさん身体を動かし、遊べる機会を設けている ・子ども同士で話し合う機会をつくりながら、考える力や話し合う力を育てている
3	保育室やホールを使える時間やスペースが限られているため、子どもが自由に遊ぶことができないときがある
4	地域との交流の機会が多い
5	敬老会に参加するなど、隣接の高齢者施設への訪問はよく行っている

【A6】A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

1	・日々の子どもの様子を見ながら、睡眠や食事の時間を変えていき、一人ひとりが安心して過ごせるように配慮している ・保護者との連絡については「れんらく帳」への記入を毎日行っている。また、送迎時にも、保護者と話をしながら連携が図れるようにしている
2	手づくりのおもちゃ等を作成している

【A7】A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

1	・子どもの自立に向けて、日常生活のなかですべてを行わず、見守りながらかかわっていくことを大切にしている ・トラブルになりやすい時期でもあるが、子どもたち同士で和解することも難しいため、状況に応じて仲介しながらかかわることが多い
---	--

【A8】A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

1	それぞれの年齢やクラスの特徴に合わせた遊びを展開しながらかかわっている
2	・個々の年齢や発達に合わせながら、遊びや活動を行っている ・地域の「会報」に子どもの様子や行事の際の写真を掲載し、情報発信している
3	就学するにあたって必要なことについて、支援や見守りを行っている
4	・子ども同士の話し合いの時間(サークルタイムのような時間)を設けている ・地域に配信している「便り」がある。日々の様子は、Instagramにも掲載している

【A9】A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

1	・子どもの特性に目を向けながら「その子どもにとって環境や課題がベストとなっているか」「ミスマッチから困惑につながっていないか」などについて、専門的な知識・技術を有している作業療法士に相談し、一緒に考えて、問題解決につなげるようにしている ・手帳の有無にかかわらず、専門機関に子どもの育ちについての相談を行う際には、長期および短期の個別指導計画を作成している。また、保護者が医療機関や専門機関を利用する際には同行し、一緒に助言を受けることもある
2	視覚的に工夫するなど、子ども同士がかかわりのなかで成長できるようにしている
3	障害の状況に応じた園の環境整備に関しては「できること」と「できないこと」がある。もう少し環境を整えてほしいと思う
4	玄関の鍵がかかっていなかったり、園庭から駐車場に行く経路が筒抜けであったり、障害に応じた環境整備になってはいないと思う
5	子どもに合わせた手立てを行い、環境づくりや声かけを行っている
6	・保育室の保育士側の壁には、製作物等を貼らない ・個別案を作成している ・育ちのサポートを行う ・理学療法士に見てもらう ・特別支援学校の教師との面談を行っている

【A10】A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

1	登園時の子どもの状況や連絡ノートの内容から、必要に応じて配慮することもある
2	・午後6時からの「延長保育」の場合には、おやつを用意してもらい、子どもが安定して過ごすことができるようにしている ・当日の子どもの人数にも配慮し、一人ひとりがそれぞれの体調に合わせて過ごせるよう、遊びの設定を行っている
3	・子どもの生活リズムに合わせて、食事時間などを工夫している ・異年齢で過ごす時間を毎日設けている
4	・行事が多いため、難しい場面もある ・クッキングなど、異年齢での活動がある

【A11】A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

1	卒園後のことを考えて、各小学校との連携を図っている
2	年長児が小学校に行って遊ぶ機会を設け、小学生の姿を実際に見たりして、小学校の様子を知ることができるようにしている
3	・年長児には、小学校に行って小学校での生活について知る機会がある ・子どもの就学に向けて、保護者との面談も行っている
4	小学校との交流がある
5	・小学校1年生のときに、保育士が授業参観に行っている ・保護者と面談している ・小学校の教師が入学前の子どもに聞き取りを行っている

A-1-(3) 健康管理

【A12】A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。

1	子どもの健康状態に関する情報は、職員会議等で共通に理解されている
2	・保育園でのけがについては、当日の迎えの時間に、発生時の状況やけがの程度などを直接保護者に伝えている ・SIDS(乳幼児突然死症候群)については、睡眠チェックを行いながら、仰向けで眠れるようにしている。呼吸確認も行っている
3	検温の結果は共有のアプリケーションに入力し、職員全員が確認できるようにしている
4	タブレットやベビーモニターを使用し、睡眠チェックを行っている
5	・子どもの体調の変化を注視し、個々の状態を保護者に伝えている ・子どもの様子や対応などを確認し、職員間で共有している
6	・メール送信や便りをすぐに配信している ・0歳児の部屋にはカメラがある

【A13】A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

1	保護者にも職員にも、ともに周知している
2	・健診結果については、家庭にも連絡している ・子どもが欠席した場合は、連携している医師を受診するように依頼している。どの子どもも、医師に見てもらえるようにしている
3	健診の結果は、当日にアプリケーションを利用して保護者に配信している
4	歯磨きの時間を大切にしている
5	メールで伝えている

【A14】A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。

1	青いラップや別の食器を使用している
2	・アレルギーのある子どもの給食皿を色で分け、見た目ですぐ区別できるようにしている ・1週間ごとに献立表を保護者に渡し、チェックしてもらう。アレルギーの食材が入っていないかは、調理の現場、担任、園長、家庭を経て、何重にも確認するようにしている
3	・アレルギー児には、皿、盆、ラップなどの色を他の子どもと変え、専用になっている ・アレルギーの内容、食べられない食材、代替の食材を紙に書き、提示している
4	・子どもにアレルギーがある場合には、献立表の内容を栄養士、園長、担任が確認し、チェックするようにしている ・他の子どもと食べる空間を分け、間違っアレルギーの食材を口にしないよう注意している
5	・医師の指示のもとに対応している ・アレルギーのある子どもの食事は、一目でわかるように工夫している。また、職員間でもしっかり連携して対応している ・材料名を記載した献立表を家庭に渡し、保育園と家庭の双方が確認するようにしている
6	皿の色、テーブル、献立、台拭きを別にしている
7	アレルギーの子どもはテーブルが別で、布巾の色も変えている

A-1-(4) 食事

【A15】A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

1	食事の見た目にも配慮している
2	・保育園の畑(プランター)や施設の畑を見に行っている ・季節の野菜を使った取り組みなど、子どもが直接触れる機会もある ・育てた野菜を実際に給食で食べ、食育につなげている
3	・0～1歳児では、自分で食べられるような補助皿を使用し、自分で食べられる喜びを感じることができるようにしている ・クッキングの機会等も設け、食事に関して興味が持てるように取り組んでいる
4	野菜づくりやクッキングを行っている
5	・さまざまなクッキングや野菜の栽培など、食育に力を入れている ・個々の子どもの食事の好みに柔軟に対応している
6	食育活動に力を入れている
7	・米づくり、野菜づくりなどに取り組み、収穫している ・本当に食べることでできる「お店屋さん」も行っている

【A16】A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることでできる食事を提供している。

1	記念日にちなんだメニューをよく提供している
2	・離乳食をはじめ、子どもの当日の体調を確認して調理担当に連絡し、食事形態の変更などが行えるようにしている ・季節の果物を取り入れるなど、子どもたちの農園からの食材の提供も行っている
3	・子どもたちの日々の状況に応じて、食材の刻みや形状を変更し、提供している ・おやつ等も手づくりで、見た目もかわいらしい。子どもたちが喜んで食べている
4	毎日手づくりのおやつを提供したり、時宜に見合った給食を提供したり、食事についてとても工夫されていると思う
5	・ワンパターンなメニューにならないよう、子どもたちが楽しめる給食づくりを行っている ・感染症の心配がある子どもの食器等は、適切に消毒してから使用している
6	地元の食材を使ったり、季節ごとの行事食を提供している
7	・0歳の子どもには、一人ひとりの献立表がある ・収穫した野菜等は、できるだけ当日に子どもに食べてもらう ・梨狩りにも出かけている

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

【A17】A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。

1	・日々の保育についてはSNSの発信で伝え、子どもの成長を共有できるようにしている ・情報の発信は、園の保育を保護者に知ってもらう機会にもなっている
2	日々の連絡ノートで伝え合っている
3	参観日にほか、給食試食会や行事などへの参加、SNS(Instagram)による情報発信で、子どもの様子が保護者にわかるようにしている
4	保育参観やSNS(Instagram)で、子どもたちの園での様子や成長について保護者に見てもらえるようにしている
5	保育参観を実施している(複数回答:他に1件)
6	連絡帳だけでなく、日々の送迎時や保育参観の機会を通じて、保護者とのコミュニケーションを大事に対応している
7	・連絡ノートのほか、送迎時のコミュニケーションも密に行っている ・Instagram等で子どもの普段の様子がわかるようにし、共有するようにしている

A-2-(2) 保護者等の支援

【A18】A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。

1	・必要な保護者には、十分満足してもらえるように、丁寧な対応を行うことを心がけている ・支援の内容等は、アセスメントや個人の記録に残している
2	保護者に「相談したいことはないか」と声をかけることがある
3	保護者からの相談内容に関しては、偏った考え方にならないようにクラス担任が話し合い、相談した上で対応するようにしている
4	・子どもの送迎時に保護者と話したり、連絡帳等でやり取りして関係性を構築している ・相談のある保護者については、個別に相談を受ける機会も設けている
5	・完全給食を行っている ・0歳児や1歳児のおむつ、バス、延長保育、休日保育を無料化している
6	・個別に面談を行うなどしているので、コミュニケーションはできていると思う ・保護者の就労状況など家庭に合わせて保育を行っている
7	保護者からの申し出により、個別に面談や相談に応じることもある
8	・延長保育を無償化している ・休日保育がある ・場合によって、アセスメントシートに記入していることもある

【A19】A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。

1	アセスメントにあたっては、些細な気づきから早期発見・早期対応につなげ、子どもの虐待の予防に努めるようにしている
2	・アセスメントについて記入している ・児童相談所と連絡を取り合っている
3	アセスメントシートを活用しながら、子どものけがの有無、けがの回数等を把握するようにしている。明らかにけがの頻度が多い場合には、行政へ連絡するなどして連携を図っている
4	虐待予防のマニュアルはないが、日々の小さな気づきも記録して、虐待の防止につなげられるように努めている
5	職員研修は実施していないが、早めに関係機関へ報告するようにしている
6	・子どもが話したことなどの細かい内容も聞き逃さないようにして、子どもの家庭での様子を把握するようにしている ・けがや身体に変化がある場合は、写真を撮るなどの対応を行っている
7	アセスメントシート利用している
8	・アセスメントシートを活用し、ICT化も図って全職員が見ることのできる環境にしている ・研修や発表等に参加している

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

【A20】A-2-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。

1	改善の余地があると思っている
2	記録を通して1カ月ごとの保育を振り返りながら、以降の保育へつなげている
3	・子どもに関する話し合いや振り返りは、担任間や園長・主任と行う機会が多い ・自己評価は行っていない

Ⅱ-2. 職員自己評価【総合自由意見】

※記入者の特定を避けるため、本題を曲げない範囲で文章を加工しています。内容により特定される場合もあると思われますが、本人の不利益にならないよう取り扱いにご配慮をお願い致します

特によいと思う点、改善したいと思う点

＜特によいと思う点＞

1	・「何か気になるが、どうしたらよいのだろう」というような職員が気になっていること、困っていることは、月2回、作業療法士が保育園を訪問してくれるので、相談できる環境がある。作業療法士からアドバイスをもらうことで、問題解決につながっている。子どもだけではなく、親への上手な伝え方もアドバイスしてもらえるので大変心強い ・アセスメントシートの活用で、気になる子どもや親の姿が見えてきている。気になる姿が見えてきたときは、早めに言葉をかけてコミュニケーションを図ることで、保護者との面談につながるケースも多い。保育士にも「困っていることを見抜く目」が養われてきていると感じる ・「聞いてほしい」「わかってほしい」という相談や面談が一番大切なことであると思う。保護者は、自分の気持ちを受け止めてもらったことから、次の問題解決の相談へと舵を切ることができる。育児に関するサポートや保護者支援に力を入れている ・地域の人たちが「畑の先生」「田んぼの先生」「お味噌の先生」となり、子どもたちにたくさんの経験をさせてくれることで、子どもを地域と一緒に育み、成長を支援することができる。「こういうことがしたい」と言える環境もある ・介護老人保健施設が隣接していることで、子どもたちは散歩や行事を通して、地域の高齢者との交流を深めることができる
2	・職員同士の関係が円滑である。ぎすぎすしていない ・相談しやすい ・休暇が取りやすい ・困っているときには、声をかけてもらえる
3	・食育に力を入れている。子どもたちが楽しめるイベントを多く実施している ・有給休暇やリフレッシュ休暇が取りやすい ・園長や主任と話しやすく、相談しやすい
4	・急な事情ができたときなどにも、休暇を確保しやすい ・上司への相談、職員間での相談がしやすい
5	・休みなど、急な勤務変更にも対応してくれる ・全体的に職員間の仲がよく、クラスのことや子どものことを相談しやすい ・保育のなかでやってみたいことが実現できる環境である
6	・保護者が育児等について相談しやすい環境や関係ができていると思う ・自分の子どもが体調崩した場合などにも休暇をもらいやすいので、仕事と子育ての両立しやすい職場であると思う。いろいろ声をかけてくれることが助けにもなっている ・さまざまな行事があるので、子どもたちにとっても、楽しく、いろいろな体験ができるよい環境となっていると思う
7	・個人に合わせて保育を行っている ・よい雰囲気の中で保育が行われていると思う

8	・子どもに対する接し方や保護者支援等については、個々の職員がきちんと対応できるスキルを持っているため、園全体の質は高いと思う ・時代のニーズに合わせて、おむつ(0・1歳児)やバス代の無償化、休日保育の実施を始めた。それらのことによって、少しばかりは保護者の負担が軽減できているように思う。先駆けて実施していることも、特によいと思う
9	・園長や主任に気軽に相談しやすい ・保育士それぞれの保育を尊重し合っている ・食育に積極的に取り組んできたことで、子どもたちは「食」への興味や関心を高めている。楽しく食事ができるように、さまざまな工夫も行っている ・これまでの伝統のみにとらわれず、当該年度に在園している子どもたちに合わせた行事の内容に変更している ・子育てをしている家庭の負担が少しでも軽くなるように配慮している。相談することで、保護者の気持ちが和らぐように支援している ・子どもの家庭環境アセスメントを積極的に行い、各家庭や子どもの適切な支援につなげることで、虐待を未然に防ぐことができるように努めている
10	発達支援、虐待の防止と予防の取り組み、食育活動、独自のサービスなどがよいと思う
11	今回のチェックシートを通じて、改めて当園の保育の質はとても高いと感じた

＜特に改善したいと思う点＞

1	・コロナ禍になり、行事が減ってしまったことで、園内でできることを考え、子どもたちが楽しめることを会議等で話し合っ進めてきた ・当時は、行事が少なくなったことで、子どもの園での活動の場面を保護者が見る機会が減ったため、いくつかの家庭から不満の声が聞かれていた。そうした親の不満に対応するには、園として何ができるのかを考えたとき「子どもが喜んでいる姿や楽しんでいる日常の姿を見てもらう機会があればよいのではないか」と思い、保護者に向けてSNSを活用した発信を行うことにした。新型コロナウイルスが5類感染症へと移行した現在でも、この取り組みは継続している ・保護者の要望を聞くことも大切であるが、当園の保育士の取り組みを保護者に知ってもらう機会をつくることも、大切であると思う。保育についてもっと伝えていく必要があると感じている ・多様化している保護者対応に関しても、保育士として求められることが多くなってきている。そのため、保護者とかかわる際には、気をつけなければならない点も多い。先入観で決めつけたりせず、さまざまな保護者がいることを念頭に置きながら、柔軟に「どういう工夫をしたら相手に伝わるのか」を考えられるようにしたい ・保育の質を高める上で、必要とされる研修に積極的に参加していく必要もあると思う
2	・給料が安い ・特別手当等がまったくないと思う ・福利厚生について改善してほしい
3	・リーダーやサブリーダーを任命する基準は勤続年数のみであるため、書類の業務をしない職員や業務中にいつも寝ている職員が役職についている。任命は、職員の業務中の態度で評価してほしい。給与にもかかわっていることである ・上層部で決まっている話が下に伝わってこないことが多く、保育園全体で共通認識ができていないことが多々ある ・すべてを無償化（バス代、延長保育代、祝日保育、おむつ代など）したが、それについては職員には何の相談もなく、勝手に始まっていた。特に、祝日（日曜日を含む）保育に関しては、いまでも「誰が出勤するのか」「休職はどうするのか」「受け入れる基準はどうなっているのか」などの細かい内容についてわかっていない
4	・上司などに相談はできるが、具体的な解決にはつながらない ・子どもがゆったりとした気持ちで過ごせる環境づくりを行いたい ・クラスごとに、SNSの発信や製作などの頻度にばらつきがある。SNSを行うために、本当にしなければならない子どもたちへの対応がおろそかになっている現場もある。SNS等の頻度を減らし、職員の負担を軽減することによって、子どもたちと接する時間を優先できると思う。そうすれば、気持ちもゆったりするのではないかな
5	・おむつやお尻拭きの無償化、バスの無償化、延長保育の無償化などを次々に行っているが、実施に伴って職員の負担が増えている。すべて、常務理事の独断で行っているが、正直に言って「そこまで行う必要があるのか」と思う。職員に対しては、給食費の値上げを行うなど、職員への還元が何も無いことへの不満がある ・休憩が取れない。子どもから離れることができず、飲み物を飲みながら、常に仕事をしなければならない。書類作成や日々の業務に追われ、本来の仕事をする時間がない。週40時間をはるかに超えても、残業代は出ず、サービス残業である。土曜日の行事の業務分は、調整分として自己管理になっている。休憩時間や残業代は確保してほしい ・大きく変わる事業（日・祝日保育など）を行う場合にも、職員の意見は聞かずに進められている。現在も詳しい内容については知らされていない。家庭がある職員もいるので、急に話を進められても対応できない上に、不安も大きい ・子どもに関することや、保育について重要なことを周知する機会が少なく、知らされていない場合も多い。必要なことは、きちんと周知できる体制をつくってほしい ・リーダーへの手当や処遇改善の基準があいまいである。手当がつかない職員には昇給で上乗せするという話であったが、その約束は守られていない。その一方で、保育中に眠っていたり、書類業務ができない職員をリーダーやサブリーダーに任命することにも不満がある。きちんと職員に説明してほしい。また、公平に判断してほしい

6	・今年度から始めた休日保育については、下の職員にはほとんど相談がなく、始まってから知らされている。詳細について、まだわからないこともある。きちんと教えてほしい ・11月末からバスが2台体制になるが、運転手の確保で保育士1名が免許を取りに行くという。その場合、バスの運転に保育士1名が取られてしまい、人手が足りなくなってしまうと思う。運転手は運転手、保育士は保育士と、しっかり分けて採用してもらいたいと思う。運転手を雇わずに、なぜ保育士が免許を取らなければならないのか、疑問である ・日々の人員配置は、当日に誰がどこに入るかを決めているが、1週間分をどこかに掲示したらどうかと思う。そのようにすれば、どのクラスで、どの時間帯に人員が足りないのかなどが、わかりやすいのではないかなと思う
7	職員の業務の評価が十分に行われているのか、わからないところがある
8	・職員の就業規則等は、各人に1部ずつあると、そのつど確認できるのでよいと思う ・園庭整備の草むしり・草刈りなどは、職員の空き時間を利用して行ってきたが、現状のままでは時間が取れないので、保護者の協力が必要であると思う ・人間関係は、他の園に比べて良好であると思うが、保育観の違いにより、保育のやり方や子どもとの接し方などに悩んでいる職員もいる。直接的には言えないため、園にソーシャルワーカー的な存在がいてくれると、間に入ったり、言いやすい環境がつかれるのではないかなと思う
9	・処遇改善手当の支給方法を改善してほしい ・リーダーでも、リーダーではなくとも、仕事量は変わらない。職員は皆が同じ仕事量で、もらっている給料に差が出てしまうのはどういうことなのか

Ⅲ. 利用者【保護者】調査 集計結果

認可保育所 本楯保育園	
調査実施期間	2023年9月27日～10月5日

調査対象数	60名
回収数	34名
回収率	56.7%
有効回答数	34名
有効回答率	100.0%

《サービスの提供について》

【問いの主旨】 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか

問1 「本楯保育園」での活動は、 お子さんの心身の発達に 役立っていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	32	0	1	1	34名
	94.1	0.0	2.9	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・子どもは、保育園に行くようになってから、言葉や動きだけでなく、身体能力も向上したように感じている ・自宅では、子どもを遊ばせる場所も限られるが、保育園では広いところで動き回れるので子どもも嬉しいようである
2	食育の活動はとても素晴らしいと思う。子どもたちが、楽しみながら、おいしく食べられるようにする工夫に、いつも関心させられている

「いいえ」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか

問2	「本楯保育園」での活動は、 お子さんが興味や関心を持って 行えるものになっていると 思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		32	1	0	1	34名
		94.1	2.9	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	毎日のように行われる保育園のイベントについて、職員の手のかけ方がとても凝っていて、よいものにしてくれるので、子どもが日々楽しそうに登園できている
---	--

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか

問3	「本楯保育園」で提供される 食事・おやつは、お子さんの 状態に配慮し、工夫されたもの になっていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		31	2	0	1	34名
		91.2	5.9	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・最近、子どもは偏食気味であるが、保育園では食べてくれている ・子どもに声かけをしたり、好きな食べ物も工夫をしてくれている。保育園から、子どもが好きなものを教えてもらえることも助かっている
2	手づくりおやつ、季節に合わせた食事、行事ごとのメニューなど、とてもよい工夫がされていると感じる
3	とてもおいしくて、かわいいおやつ、ごはんを出してくれている
4	・とても素晴らしい給食であると思う ・おやつも手づくりで、見た目もかわいらしいものが多く、子どももとても喜んでいる
5	子どもは、手づくりのおやつが、とても好きみたいである
6	・いつもたくさんのお代わりができるので、子どもはとても喜んでいる ・おやつは全部が手づくりで、しかも子どもたちが喜びそうなものばかりである。それらは親が見ていても楽しい
7	・毎日、手づくりのおやつを出してくれる。見た目もかわいらしいので、子どもは喜んで食べていると思う ・子どもの身体のことと考えて食事やおやつをつくってくれているので、親としても非常に有難いと思っている
8	季節に合った食材などをメニューに取り入れたり、おやつも活動の内容に合わせて準備してくれたりするので（例えば「映画ごっこ」をするときには、ポップコーンを準備してくれるなど）、子どもがとても楽しそうである

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・離乳食については、子どもの様子に応じて食材の刻み方などを変えてもらっているようであるが、保護者の側から尋ねなければ「子どもがどのように食べているのか」がわからず、連携ができていないように感じた ・また「離乳食期の子どもが食べて大丈夫なのだろうか」と不安に思う食材が、おやつに出されることもあり、心配になる
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 保育所の生活で、身近な自然や社会と十分に関わっているか

問4	戸外遊びや行事などにより、 お子さんが自然や社会と関わる 機会は十分確保されていると 思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		31	1	0	2	34名
		91.2	2.9	0.0	5.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	人見知りのため、行事などの際にはたくさんの方がいるので緊張するようであるが、保育園からのSNSによる情報発信では楽しく参加できている様子が見られた
2	バスで遠出する機会があり、また同じ法人グループの老人保健施設などとの交流も行われていて、子どもにとって、とてもよい経験になっていると思う
3	そう思うが、天気の良い日（雨が降らず、寒くない日）は、もっと外遊びをしたほうがよいのではないかなと思う
4	畑の先生との交流や果物狩りなど、子どもにとって園の地域と触れ合う機会が多く、いつもお世話になっていると感じている

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・園庭がいつも雑草だらけであることが気になる。もう少し、遊びやすい園庭になるようにする配慮がほしいと思う ・行事についても、園内のものが多くて、そのことが少し残念である。行事の様子についてSNSで動画を配信し、保護者が見られるようにしてくれていることはよいが、やはり直接見られる機会がないとだめだと思う
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか

問5	急な残業などであらかじめ 取り決めた利用時間を変更する 必要がある場合、柔軟に対応して くれていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		23	2	2	7	34名
		67.6	5.9	5.9	20.6	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・延長料金の徴収がなくなったことは、とても助かっている。以前は数分過ぎただけで延長料金がかかっていたので、それがとてもプレッシャーであった ・しかし、現在は、電話で連絡を入れるだけで、少しの間、子どもを見ていてくれるようになったので、どうしても仕事を定時に上がれないときなどに助かっている
---	---

「いいえ」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】安全対策が十分取られていると思うか

問6 安全対策が十分取られていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	25	8	1	0	34名
	73.5	23.5	2.9	0.0	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・ 保育参観のときなど、部屋の安全対策にも配慮されていることが感じられる ・ 子ども向けの遊具などの安全も考えられている
2	保育園内の様子を見る機会があまりないのでわからないが、これまでに子どもがけがをしたなどのことがなかったので、安全対策が取られているのであろうと思う

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	入口が常にかいているので、誰でもすぐに園内に入れると思う
2	以前、子どもが外の柵から落ちて、顔をけがしたことがある
3	どのような安全対策を行っているのかを知らない
4	・ 園庭の草のことが気になる ・ 水が流れているほうの柵が傾いている。安全性は大丈夫なのか、心配である
5	時どき日中など玄関付近（事務室）に誰もいないことがある。そのように、誰でも保育園に入れそうな時間帯があると思う

「いいえ」と回答した人のコメント

1	駐車場が狭い。特に登園・降園の時間帯は車が増えるので、危険である
---	----------------------------------

【問いの主旨】 行事日程は、保護者の状況に十分配慮して設定されているか

問7 行事の日程は、参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	27	6	1	0	34名
	79.4	17.6	2.9	0.0	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・土曜日に行事が行われるなど、保護者としては参加しやすいと感じている。子どもだけが参加する行事の際には、SNSで配信してもらえるので有難い ・保育参観は平日に行われたが、開催の頻度はそれほどでもないで、参加のための日程の調整もしやすかった。保育園としては新型コロナウイルス感染症の予防対策もあることとは思うが、保護者2名で参加できるようになるとより嬉しい
2	配慮してくれているが、保育参観は平日開催だったので、土曜日にしてもらいたい
3	毎回、楽しく参加できている

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・小学校に通う子どもの行事日程と重なるなど「配慮が足りない」と感じることもある ・また、現在も新型コロナウイルス感染症への対応を引きずっている感じがあり、そのため園内行事が多く、保護者は見に行けないので「子どもと同じ組みだが、名前がわからない」「親御さんの顔も知らない」ということが増えている ・もう少し親も一緒に楽しめるように、園として工夫をお願いしたい
2	年間の行事予定表は渡されているが、それぞれの行事について、親が参加する行事なのか、あるいは参加しない行事なのか、開催日が近づいてからでなければわからない

「いいえ」と回答した人のコメント

1	・行事の開催予定は、もっと早めの時期に保護者へ知らせしてほしい ・お知らせが急に来自る場合があり、参加できないことがある
---	---

【問いの主旨】子どもの保育について、家庭と保育所に信頼関係があるか

問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり、相談することができるような信頼関係があると思いますか	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		28	5	0	1	34名
		82.4	14.7	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・保育園とは連絡帳で子どもの様子を伝え合うことができるので、園での子どもの過ごし方などもわかりやすい ・保育参加のときには、子どもの発達のことについても相談できた。わかりやすいように、丁寧に話して説明してくれた
2	連絡帳に子どもの様子などを丁寧に書いてもらえるし、職員との面談する機会もあるので、とても安心である
3	担任の先生が話しやすく、何でも言える。とても信頼できる先生である
4	子どもの送迎時のほか「おたより」で職員とのやり取りができている
5	園長先生や主任の先生に相談していると、気持ちがゆっくりしてくるときがある
6	保育園での子どもの様子を詳しく知りたいので、未満児でも個人面談があるとよい
7	・担任が変わっても、その後もわかりやすく伝えてくれているので、安心している ・よいことばかりでなく、直していきたいところなども隠さず伝えてくれることも有難いと感じている

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	職員による
---	-------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

《安心・快適性について》

【問いの主旨】施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか

問9 園内は 清潔で整理された空間に なっていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	31	1	1	1	34名
	91.2	2.9	2.9	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	古い建物ではあるが、床もぴかぴかに磨かれ、きれいである
2	清潔で整理された空間になっていると思う。園内に入る機会はあまり多くはないが、時どき入ったときには、そう感じる
3	特にトイレがきれいで、素晴らしいと思っている

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「いいえ」と回答した人のコメント

1	室内についてはとてもきれいであるが、園庭のことが少し気になる。グラウンドをもう少し整備すれば、子どもたちの遊びの幅も広がるのではないかな
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 職員の接遇・態度は適切か

あなたは、職員の言葉遣いや 問10 態度、服装などが適切だと思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	27	6	0	1	34名
	79.4	17.6	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	どの職員も、やさしく接してくれる。担任以外の職員も子どもの様子を伝えてくれることがあり、有難いと感じている
2	皆さん、よい職員ばかりである
3	ただし、感じの悪い職員もいる

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・ 爪が伸びている保育者が目立つ ・ 以上児、未満児にかかわらず、爪は短くして子どもの保育にあたってほしい
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか

問11 お子さんがけがをしたり、 体調が悪くなったときの、 職員の対応は信頼できますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	30	3	0	1	34名
	88.2	8.8	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・ 子どもの体調不良時には連絡してくれる ・ 保育園としても、子どもへの対応に慣れてきた頃からは体質的なこともわかってきて、様子を見ながら子どもとかかわってもらえた
2	体調等について、小さいことでも教えてくれる

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	・ 子どもが顔に傷をつくって家に帰ってきたことがあったが、降園の際には、職員から何も言われなかった ・ おそらく、自分の爪が顔に当たってしまったのであろうと思うが（爪は短く切っていたけれど）、職員からは何の説明もなく、残念に思った
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか

問12 子ども同士のいさかいや いじめ等があった場合の 職員の対応は信頼できますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	18	8	0	8	34名
	52.9	23.5	0.0	23.5	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	まだそういう事態になったことがないので、わからない
2	子どもの年齢によって「自分のことは自分で」という方針のようであるが、他の子どもから嫌なことをされたとき、子どもはなかなか誰にも言えずにいたようで、そのために「保育園には行きたくない」と言うような日もあった

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

《利用者個人の尊重について》

【問いの主旨】子どもの気持ちを尊重した対応がされているか

問13	あなたは、職員がお子さんの 気持ちを大切にしながら 対応してくれていると 思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		29	5	0	0	34名
		85.3	14.7	0.0	0.0	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・子どものいつもの様子や、性格なども職員はわかっていると思う ・連絡帳で伝えてくれる園での子どもの様子の記述からも、よく見守ってくれていることがわかる。有難いと思う
2	「子どものことをよく見てくれているな」と思う職員がいる
3	何が好きで、何が嫌いか、子どもの性格のことまでわかっている先生がいる

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】子どもと保護者のプライバシーは守られているか

問14	あなたやお子さんのプライバシー (他の人に見られたくない、 聞かれたくない、知られたく ないと思うこと)を職員は 守ってくれていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		27	6	0	1	34名
		79.4	17.6	0.0	2.9	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	守ってくれていると信じている
---	----------------

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか

問15 お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	27	6	1	0	34名
	79.4	17.6	2.9	0.0	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	保育参観のときの子どもの様子を見て「毎日このように保育園で遊びながら、子どもは成長しているのだな」と感じた。自宅での子どもとの過ごし方の参考にもなった
2	保育内容に関する説明はわかりやすいと思う。ただし、入園時の用件（家庭で準備する物の詳細など）や行事の開催日時・集合時間・場所・持ち物などの連絡が小出しだったり、詳細不明なことはある。例えば、ただ「タオルを持参」と言っても、どんなタオルがよいのか、サイズはどのくらいかなど不明である。他の皆さんはどうしているのか

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	わかりやすいと感じるときと、そうでないときがある
---	--------------------------

「いいえ」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

《不満・要望への対応について》

【問いの主旨】 利用者の不満や要望は対応されているか

問16 あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当 無回答	合計
	22	7	0	5	34名
	64.7	20.6	0.0	14.7	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	・園庭の草の処理については要望を伝えているが、保育園の回答は「草刈りは行っている」というものであった。しかし、その後も園庭が草だらけになっていることが多かったので、その草だらけのなかで遊ぶ子どもが少しかわいそうであるように感じた ・外で子どもが遊ぶことは、とても大切であると思うので、気持ちよく遊べるような配慮をもう少しお願いしたい。他の保育園の園庭の様子などを参考に改善を図ってほしい
---	--

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	伝えれば対応はしてくれるが、例えば「話し合ってみる」などということがなく、すべてを否定されてしまったこともあって、残念に感じたことがある
---	--

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

【問いの主旨】 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当 無回答	合計
		12	7	3	12	34名
		35.3	20.6	8.8	35.3	100.0%

「はい」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「どちらともいえない」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「いいえ」と回答した人のコメント

1	コメントなし
---	--------

「非該当」「無回答」の人のコメント

1	コメントなし
---	--------

《総合的な感想》

〔1〕 満足度

	人数（名）	割合（％）
1. 大変満足	20	58.8
2. 満 足	9	26.5
3. どちらともいえない	4	11.8
4. 不 満	1	2.9
5. 大変不満	0	0.0
無回答	0	0.0
合 計	34	100.0

〔２〕日頃から感じている「本楯保育園」に対する意見・要望など

1	・子どもの日頃の様子をSNS（Instagramなど）で配信してくれるので、保育園での過ごし方がよくわかって嬉しい。連絡帳にも丁寧に書いてくれるが、実際に動画で見ると、やはり伝わってくる情報量が違うと感じる ・子どものことを第一に考えてもらえる。子どもにとっての負担が少ないようにかかわってくれている。職員が保育園での様子を伝えてくれたり、子どもに対応してくれたりするので親としても助かっている ・いろいろな行事なども企画してもらい、子どもが楽しそうである。有難く思う
2	・さまざまな行事（保護者参加の行事、園内行事）を開催してくれるので、子どもも親も、楽しく参加し、過ごせている ・食育、マナー、音楽、英語など、さまざまな機会を設定してくれることも有難く、子ども自身も楽しみながら新しいことに取り組んでいる様子であった ・家庭ではなかなかできないことばかりなので、保育園に通って、同年代の友だちと一緒に活動の幅を広がられていることは、親としてはとても嬉しいことである
3	・さまざまな行事や製作など、他の保育園では経験できないようなことがたくさんあって、子どもも親も楽しめているので「よいな」と思っている ・子どもは本当に毎日、家に帰って来てからも保育園の友だちの名前を言ったりして、嬉しそうにしている
4	とてもよい保育園だと日々思う。いつも有難うございます
5	駐車場を広くしたほうがよい
6	・新型コロナウイルス感染症を予防するためのマスクもまだ取れない状況ではあるが、もう少し保育園に笑顔があってもよいのではないかなと思う ・毎日、子どもが「楽しい」と言って帰って来るような保育園になってもらいたい
7	衛生管理の面からは、そのようにすることは難しいのかもしれないが、迎えの時間が早くて午後のおやつを子どもが食べられないときに、持たせることができるようなものであれば、家に持ち帰らせてもらえたら、子どもが平等に楽しめると思う
8	・SNS（Instagram）で園での様子を積極的に発信してもらえてとても嬉しく感じているが、その一方で「直接見なければわからないこと」も多くあると思う。園にはその点を大事にしてもらいたい ・新型コロナウイルスの感染が再拡大し、インフルエンザも流行し出している現在の状況に対応しなければならないことも理解しているが、例えば組ごとに分けて保護者も参加できるようにするなどの工夫を行いながら、少しずつ形を変えて活動していく必要があると思う ・顔を合わせて話す機会が少ないと、保護者同士も関係を築くことが難しい
9	・保護者が参加できる行事が「もう少し多くあったらよいな」と思っている ・保育時間について相談した際の職員の対応がとてもよく、有難く思う
10	・子どもの発達について、一所懸命に取り組んでくれる園であるが、少し過敏過ぎるのではないかなと感じることがある ・少しの傷でも、そのことについて追及をされると（子どもに対しても）、悪いことをしていないのに、少し嫌な気持ちになる。ドメスティック・バイオレンス（DV）防止のためであると思うが、それもほどほどにしてもらいたいのではないかなと思う ・総合的には、当保育園に満足している

11	・保育園で楽しく遊んでいるなかで、いろいろなことができるようになってきているので、親としては有難く思ってるが、降園の差に子どもの顔が汚いままであることが多く、残念に思っている（例えばおやつを食べたあとの顔の汚れや、鼻水を自分の手でぬぐってしまったのか、固まった状態の汚れが顔についていたままなど）。保育園には多くの子どもがいるので、職員も一人ひとりに目を配ることは大変であろうとは思いますが、子どもを大切に見てもらえてないのではないかと感じてしまう ・せめて保育園から帰る前のタイミングには「子どもの顔が汚れていないか」などについて確認し、顔をきれいにしてから家に帰してもらえると、私だけでなく他の保護者もそうしたことで不快になるようなことがなくなるのではないと思う
12	・迎えの際には、例えば「今日の何々さんや何々君の様子はこうでした」「こういうことをしました」などのように、子どもの一日の様子を、職員の側から少しでも伝えてくれたら、それによって職員と話しやすくなり、相談もしやすくなる。職員との会話の糸口がほしい ・以前、子どもが「おもちゃが少ない」と言っていた（他の保育園と比べて） ・保護者の意見を取り入れた「当保育園らしい取り組み」がほしい
13	・子どもを迎えに保育園に行くと、毎回、子どものその日のこと、出来事等を笑顔で職員が話してくれるので、嬉しく思う ・保育中、子どもに発熱があったときも、職員が少しの間、様子を見てくれるので、仕事の日の場合は有難い ・SNS（Instagram）で普段は見ることのない子どもの様子を伝えてくれて楽しいし「いいな」と思っている。更新頻度も高めで、次々と情報をアップしてくれる
14	職員の休暇を確保するために、子どもを保育園に預けることができない日があった
15	・先生たちの雰囲気明るく、何かあれば親の相談にも乗ってくれるので助かっている ・行事をはじめ、子どもたちの活動がとても充実していると思う。子どもが喜んでいる姿を見ると、親としても嬉しく感じる ・他の施設との交流、花火など、たくさんの活動に取り組んでくれていて素晴らしい ・給食、おやつがすべて手づくりでよい。レシピの提供もあって、さらいによい
16	何々先生という人が、大変感じが悪い
17	先生方が明るく親切で、信頼ができる
18	・コロナ禍を乗り越え、行事などに保護者も参加できるようになった。そのための保育園の努力も有難いと思っている ・毎日、安全で温かい保育をしてくれているおかげで、私も安心して仕事ができている ・栄養バランスのとれた、おいしい給食やおやつにも感謝している ・これからも、子どもの保育を宜しく願いたい
19	・日々の業務で忙しいなかでも、職員は子どもたちのためにさまざまに工夫して楽しませてくれるので、大変感謝している ・職員から、子どもはさまざまな経験をするなかで「何々をした」「何々さんと…」などと話せるようになる」と伝えてくれることが多く、子どもたちも「いつも同じでないよさ」を感じているであろうと思う ・コロナ禍にあっても職員がさまざまに手立てを講じ、行事が開催できるようにしてくれていることに感謝している。行事のなかでも、ハロウィンと節分を特に楽しみにしている

〔3〕 今回の調査に関して気づいた点など

1	・他の保育園や認定こども園などではどのような取り組みを行っているのか、各園の特色はどのようなものなのかなどについて、保護者として比較・検討するための情報がない。そのため、これから園を選ぶ家庭のことを考えると、もっとそうした情報が入手しやすくなっていけばよいのではないかと感じている ・当保育園は、子どもの人数は少ないものの、バス送迎無料、おむつ持参なし、延長保育の負担なし、ごはん持参なしなど、とてもよい条件が揃っているので、保育園選びの比較情報として行事、その他の取り組みなども一緒に載せれば、もっと「当園を利用したい」という家庭が増えるのではないかなと思う
2	・このような調査が毎年あれば、いろいろな意見が出されるようになってよいと思う ・保育園に対して直接は言えなかったことでも、このような機会があれば言えるようになるのでよかったと思う
3	今回の調査を通して、本楯保育園がさらにより保育園になっていくことを応援している
4	最初こそ「地域の保育園」という理由で入園を希望したが、いまでは「ずっとこの保育園に子どもを入れていたい」と思っている